

SSKS 療育ねっとわーく川崎

2017年8月20日発行
No.201 (2800部)
NPO法人
療育ねっとわーく川崎
発行者 江川 文誠
編集者 谷 みどり

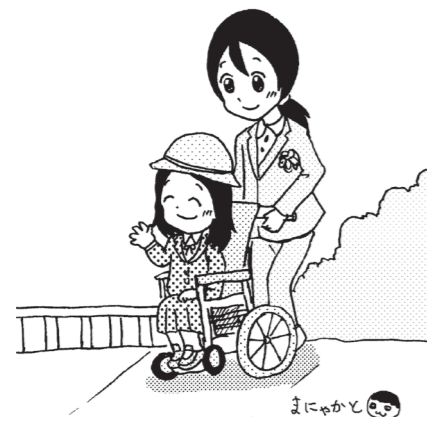
川崎市でも、障がいがあっても「学区の小学校への就学」が基本とされています。そして、その子どもに必要な支援に応じて、様々な学びの場(特別支援学校、通級、訪問学級や病院内学級)を選択することが出来ることになっています。しかし、実際は地域の支援級に通うにあたり、エレベーターの有無を始めとするバリアフリー環境、特別支援級でのスペースや職員体制、給食の二

ランの基本理念は「障害のある人もない人も、お互いを尊重しながら共に支え合う、自立と共生の地域社会の実現」です。そして、このノーマライゼーションの理念を受けて、「障害の有無に関わらず共に学ぶ場の構築」を目指すインクルーシブ教育の推進が進められています。



Q 現在5歳の娘は、いよいよ来年小学校に就学を予定しています。重度の重複障害がありますが、地域の小学校(特別支援学級)を希望しており、学校見学会に行きました。しかし、あれも難しい、これも難しい・・・など、支援級での受け入れに前向きではない印象を受け、とても残念で悔しい思いをしました。就学説明会で聞いた「ノーマライゼーション」や「インクルーシブ」などという理念と現実ギャップを感じました。

次調理、わくわくへの送迎、看護師の配置(医療的ケアがある場合)などの問題が聞かれます。また、学校によっても環境や受け入れの土台に大きな違いがあるようです。「その子に必要な学びの場を選ぶ」はずが、知らず知らずのうちに、Aが難しいからB、Bが難しいからC、というような学校の選び方になってしまふ。これは「選択」ではないはずですが、障害の重さで就学先や行き場が決まってしまうのではなく、その子に合った支援や環境を整えていくというのが、ノーマライゼーションの考え方はずです。



七川(なながわ) まにかし

今月号の目次

- 1 こんなときどうするの.....1
- 2 障害者差別解消法(当事者から).....2
- 3 第4次かわさきノーマライゼーションプランのヒヤリングについて.....3
- 4 お知らせ.....4
- 5 療ねひろば.....5
- 6 大盛況に終わった夏まつり.....6
- 8 明日香のたまげ.....8

(本誌5・6・7・8面は会員のみに郵送)

2017年 先着50名!

BBQ 交流会

ハーベキュウ ホランディアさんと一緒に楽しんで過すBBQ!

ミキサー持込可(電源あります)

日付 2017年10月15日(日) 開催 11:00~14:00

参加費 ご本人+ご家族又は介助者 2名で3,000円
3人以上の場合は、プラス1名につき3,000円

会場 京王フローラルガーデン ANGE 《アンジェ》
住所: 東京都調布市多摩川4-38

アクセス

電車での行き方: 京王線京王稲田堤駅より調布方向で各停または快速で1駅目「京王多摩川駅」下車、駅前。駐車場のご案内: 隣接の「京王コインパーキング」をご利用下さい。収容台数35台、料金100円/20分

申込締め切り 2017年9月15日(金)

問い合わせ: ポランディア交流企画 事務局: 前田
主 催: NPO法人療育ねっとわーく川崎
TEL: 044-930-0160 FAX: 044-930-0128 アドレス: jimukyoku@rond.jp

療育ねっとわーく川崎

リフター体験会

会場: 療育ねっとわーく川崎 本部(和室・浴室)
(集合/サポートセンター10:30)

2017年9月20日 水曜日 10:30~12:30

講師 クリエイティブオフィス 阿部 様

9月の療ねひろばでは、クリエイティブオフィスの阿部さんをお迎えして、体験会を開催します! 介助負担の軽減もですが、安全・安心な介助のために、リフターを体験してみませんか?

療ね会員でなくても大歓迎です!

お問い合わせ・お申込み
NPO法人療育ねっとわーく川崎 事務局 前田・七川 044-930-0160

歌フェス & 映画上映会

入場無料 親子部員は1名まで

歌フェス出演者

- 10:45~12:30 (10:00開場) LiveLifeHouseROND!
- 歌 正
- KANEKO & MAEDA
- 777-バタフライ

映画作品

- 第1部 12:45~14:30 うまれる
- 第2部 15:00~16:40 さとにきたらええやん
- 第3部 18:30~20:15 うまれる

2017.11.1(水)

会場 多摩市民館 大ホール
川崎市多摩区総合庁舎2階
(JR登戸駅から徒歩10分)
(小田急線向ヶ丘遊園駅から徒歩5分)

主催: 特定非営利活動法人 療育ねっとわーく川崎 TEL:044-930-0160 (谷・前田)
後援: 川崎市・川崎市教育委員会

発行所 郵便番号一五七〇〇七三 世田谷区砧六二六二一
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価一〇〇円

(連絡先) 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンター Rond
Tel 044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: tani@rond.jp http://rond2981.jimdo.com/
(会費振込先) 郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費 2500円 賛助会費一口 2000円

会員・賛助会員募集

■制度情報■ノーマライゼーションプラン

第4次かわさきノーマライゼーションプランのヒヤリングについて

まず、障害福祉計画とは、障害者総合支援法に規定されるサービスを計画的に整備することを目的として、市町村及び都道府県がそれぞれの実情に基づき策定します。第4期は平成27年度から平成29年度までの3年間の計画として策定されます。

第4期障害福祉計画の内容

第4期障害福祉計画では、障害者の高齢化・重度化・多様化や「親なき後」を見据えた視点に立ち、地域において求められている相談、体験の機会・場の提供、緊急時の受け入れ・対応、専門的な対応、地域づくりの体制等の機能を持った拠点等の整備を新たに加え、目標として定めています。

平成29年度までに重点的に取り組む目標として、

- ・福祉施設から地域生活への移行
- ・地域生活支援拠点等の整備
- ・福祉施設から一般就労への移行
- ・障害児支援のための計画的な基盤整備
- ・精神科病院からの地域生活への移行

と地域相談支援センターの5年目の見直し、第5期障害福祉計画と第1期障害児福祉計画に関しての意見と要望を川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害計画課（2名の方は、地域相談支援センター担当者）と川崎市内の障害団体とでヒヤリングを行うことです。（和田正義）

資料紹介

第2期障害者通所事業所整備計画（平成28年度～35年度）概要版抜粋

第4次ノーマライゼーションプランから

障害のある方の地域生活を支える上での取り組むべき課題

- 今後も、増加する特別支援学校等卒業生の受入れ枠の確保が必要
- 障害のある方の地域生活を支える仕組みの1つの柱である「短期入所」の拡充が必要
- 安心して継続した地域生活を支えるための地域連携の仕組みづくりが必要

①生活介護事業所の整備

特別支援学校等卒業生の日中活動の場を確保するため、民間の参入が少ない生活介護事業所について、効率的・効果的な手法を用いて計画的に整備を推進する。

②短期入所の機能

入所施設への併設や単独整備が困難な中、障害者のある方の地域生活を支えるために欠かせない短期入所機能を確保するため、地域の実情に応じて、生活介護事業所との併設を含め効率的・効果的な手法による導入を検討する。

③地域連携の仕組みづくり

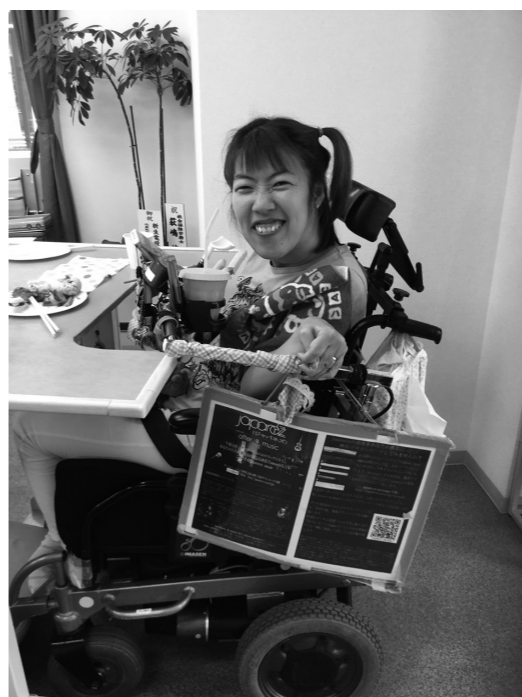
障害のある方が安心して生活できる、支え合いの地域づくりを推進する地域連携機能については、地域包括ケアシステム推進ビジョンの取組状況や、川崎区・宮前区の拠点型施設での実践の検証を踏まえ、機能のあり方を検討する。

★施設で暮らす 障害者差別解消法（当事者から）

「れいんぼう川崎」で暮らして22年。今回は、そんな入所生活の様子をお話します。れいんぼう川崎では、私が過ごす2人部屋と個室があり、トイレや風呂は共同です。部屋にはテレビ等の個人用の家具があります。

1日のスケジュールは、5時に朝介助の職員が出勤して、私は6時45分～7時に起床します。トイレ介助のあと、7時半からの1時間で、食堂でほかの人達といっしょに朝食です。昼食をはさみ自由時間の後、13時～15時半は入浴介助。横たわったまま湯船に入れる専用の装置で、機械浴と呼ばれます。17時半～19時のあいだに夕食をとり、21時に消灯です。このほか週に2回はGDPかわさきなどに通い活動しています。

入所生活の一端はいかがでしょうか。24時間職員がいる環境で過ごす



いますが、残念ながら不便な点もあります。たとえば、排泄の時間が限られていたり、時間を選んで着替えられなかったり、職員数の都合で生活が大きく左右されています。さらに、いわゆる施設に入所してしまうと「ヘルパー利用が一切できない」問題があります。施設の職員が足らなくても、あるいは外出したくても、障害の重さにかかわらず

一切個人のヘルパー利用ができません。外出するには電動車椅子に乗って単独で出かけるか、ボランティアに頼るほかありませんが、屋外でも手助けが必要です。出先の見ず知らずの人にお願いで助けてもらうことがありますが、非常に疲れてしまうので、ある程度の時間外出するときはヘルパーの介助を望んでいます。

福井さんプロフィール

1977年10月13日生まれ。中原養護学校に中2の2学期まで通って、3学期から中3の2学期まで藤沢の「ゆうかり園」に入所して、中3の3学期から高校卒業するまで平塚の精陽学園に入所してました。

そして、平成8年7月10日に、れいんぼう川崎に入所しました。

れいんぼう川崎で歌のグループ、フラワーバタフライを結成して個人的な趣味で車イススタップやボイトレもやってます。

個人外出もいろんな場所に出かけるのが、大好きです。いろんな人と出会えて、私のことを知ってもらうために、出かけます。

り、いろいろな障害や心無い対応に遭遇しました。一方で、路線バスに乗るときに「すみません」と運転手に言ったなら、「なくに謝らないの。お客さんだからドンドン頼んでくださいね」と返してもらったのは嬉しかったです。こうした親切な人も沢山いるなか、まだ私たちを分かっってもらえない人がいることは悲しいです。だからこそ、そうした人たちに理解してもらうためにもこれからも1人で出かけ続けます。

（福井聖子さん 聞き手は金子文俊）